

平成 28 年度 第 4 回大学地域連携強化プラン懇話会 会議録

- 日 時：平成 28 年 6 月 1 日（水）10 時 00 分 ～ 11 時 45 分
- 場 所：市民交流センター 5F 小会議室 2
- 出席委員：加藤委員、肥塚委員、齋藤委員、武田委員、近清委員、
廣畑委員、福井委員、星野委員、堀江委員
- 事務局：山本理事、相井参事、溝内参事、林沼主査
- 傍聴者：7 名

1 開会

【事務局】

お忙しい中、懇話会にご出席いただきありがとうございます。

これまでの懇話会で、UDC の有効性について確認していただき、必要性についても皆様方と同じ認識を持たせたものと感じております。

今年度 10 月 15 日には(仮称)UDCBK をこの建物の 5 階に開設予定でございます。本日は運営方法等についてご議論を頂きたいと考えております。よろしくお願ひします。

2 座長挨拶

前回まで基本的な方向性について議論いただきました。今後は以降運営の具体的な内容について議論が必要になってまいります。UDCBK が発展していきますよう皆様のご意見を頂きたいと思ひます。

3 委員自己紹介

各委員から自己紹介

4 第 3 回会議録の確認

了承された。

5 (仮称)アーバンデザインセンターびわこ・くさつ (UDCBK) 事業について

【事務局】

<資料 4 に基づき説明>

6 意見交換

【座長】

- ・ただいまの事務局からの説明について、ご意見を頂きたい。
- ・シート 47 に「UDC の理念に合致した食や健康等に関する新商品・サービス等・・・」とあるが、「食や健康等に関する」は削除していただきたい。

【A 委員】

- ・シート 47 のタイトルに「独自プログラム」とあるので、各主体にある「独自プログラム」は削除したほうがよい。

【B 委員】

- ・最近 BKC に行く機会があり、学生と話す機会があった。学生も地域とかかわりを持ちたいと思っていることが分かった。もっと早くキャンパスに行ったらよかったと思っている。
- ・茨木キャンパスにも行ったが、一般市民が気軽に入りやすいところであった。BKC も同じようになると良いと思う。

【C 委員】

- ・シート 20 の構成団体に企業名が明記してある。大きな企業であるが、商工会議所の会員であるので、商議所の構成員としてかかわるのがよいのではないか。

【A 委員】

- ・草津市にとって立命館大学の開設はインパクトが大きい。そのため何らかの形で地域に関わらなければならないと思っている。同様に、御社が草津市に与えるインパクトは大変大きい。そのことを考えてもらいたい。

【D 委員】

- ・シート 4・5 にある法人化に関する部分は、表現を統一したほうがよい。
- ・シート 19 にある、スタッフの派遣については、今後相談させていただきたい。
- ・みなくさまつりについての記述がない。UDC はみなくさまつりにかかわる方がよいと思う。

【座長】

- ・みなくさまつりは、南草津にとって重要な行事である。どのようにかかわるかは考える必要がある。

【E 委員】

- ・シート 20 にある構成団体の「草津市（1 名）」は、どの部署がかかわるのか。

【事務局】

- ・草津未来研究所の副所長（職員）が運営員としてかかわる。
- ・運営委員は 15 名までとしているが、現在ではそこまで達していない。今後、立命館大学以外の大学にも参加を呼びかけたいと考えている。
- ・実際の運営に際しては、今後市役所の各課に協力していただけるよう要請していきたい。

【F 委員】

- ・シート 6・7 のスケジュールに今後の活動地域として、順次広げていく予定になっているが、その内容はどのようなになっているのか。
- ・先行事例ではどのようなになっているのか。

【事務局】

- ・草津市と市内の関係者でスタートし、新施設に移設した後、包括協定を締結している大学や近隣自治体にも広げていきたいと考えている。
- ・UDCK（柏市）は広がっていない。

【D 委員】

- ・活動範囲を広げていくのではなく、外から参画したいと思ってもらえるようにすべきではないか。

【座長】

- ・平成 32 年度以降に活動地域を広げることは考えた方がよいのではないか。

【事務局】

- ・外に出ていくことではないので、表現方法を考えます。

【A 委員】

- ・UDC の施設規模については、どのような施設が必要かまだわからない。平成 30 年度までに見極める必要がある。

【座長】

- ・まず活動を開始して、再度考えることもあってよいのではないか。

【A 委員】

- ・シート 35・38 にある「都市デザインスタジオ」と「アーバンデザインスクール」の違いが分かりにくい。
- ・「都市デザインスタジオ」は、研究としてやりたい人がやる、「アーバンデザインスクール」は学習機能として UDC が必ず実施するということがよいのか。
- ・そうだとすると「アーバンデザインスクール」では、大学の関係者だけでなく、地域の専門家が教えるものがあるってよいのではないか。

【座長】

- ・地域の人がかかわるものがあるってよい。

【G 委員】

- ・シート 7 の表にある民と学の「+α」の意味は。

【事務局】

- ・今後は多くの方に参画をしていただきたいと考えている。特に、草津市は今後「健幸都市」を進めていく。この取組に関係する方々に入ってもらいたいと考えている。

【H 委員】

- ・シート 7・20 に「まちづくり委員会」とあるが、「まちづくり協議会」である。
- ・みなくさまつりは、南草津にとって大きな事業である。
- ・また、南草津にとって、交通問題は大きな課題である。
- ・多くのプログラムを考えてもらうのはよいが、一つ一つ着実に実がつくように取り組んでもらいたい。

【座長】

- ・交通問題は大変重要な課題である。これは UDC のテーマであると思う。
- ・事務局からもう 1 件提案があります。

【事務局】

<資料 5 に基づき説明>

- ・今後このパンフを用いて各方面に周知していきたい。
- ・ご意見を頂きたい。

【A 委員】

- ・実施プログラム（案）の「スピード感が大切なことから、現場に権限を与えま

す」は分かりにくい。

【座長】

- ・このパンフについての意見は、事務局までお願いします。
- ・事務局から他にありますか。

【事務局】

- ・今後の予定ですが、第5回は7月13日(水)以降で考えています。また、今後開設に向けて毎月1回開催していく予定ですのでよろしくお願いします。
- ・日程につきましては、改めて調整させていただきます。

【座長】

- ・それでは第4回懇話会はこれで終わります。

以上。